

### 昭和39年卒 黒田九州矢

川柳は去年の4月から始めた趣味で、まだ初心者です。毎月1回地元の老人会館で男女13名、60歳代から最高齢90歳のメンバーが集まり講師先生から指導を受けています。川柳を一言で説明すると「五七五のリズムで人情を詠み、人や社会を風刺する。口語の詩である」といえます。人情・人生・人の世を詠む詩であるというとき、その範囲は無数の広がりを持っています。本を読み、新聞・テレビを見、あるいは人との会話の中から言葉を捻くり回し川柳らしき句にすることは楽しくもあり、恰好の時間潰しにもなっています。

「人は皆人に磨かれ光り出す」この句は3月の例会で1年間を振り返った拙句ですが、現代を思い出します。先生からは「哲学的ですが・・・」のご講評を頂きましたが、会員皆さんからの互選の評価はゼロ票でした。よくよく考えればそれも納得しています。軽み、おかしみに欠け、何

よりも人をハッとさせる芸に欠けていることです。先生から、川柳は短詩文芸つまり詩的芸術とも教わりました。芸術は芸能の芸、武芸の芸にも通じます。術とはフェンシングでもいえますが相手に向かったときその心を掴む技術のことといわれています。相手の心を掴んだら絶対に優位です。人や物事の誹謗中傷の句は作ってはならないとも教わりました。現代川柳では自分の愚かさを笑うことがあっても、弱者を蔑んだりとくに身体的、年齢的な弱点をからかうことはダメです。人は平等という考えです。先の句もいずれ練り直し、人に「なるほど」と思わせたりニヤリまたはハッとさせる句にしたいと思っています。



川柳仲間とともに(右上・黒田)

### 平成26年卒 佐々木優

こんにちは！ 佐々木優です。3年前、皆様の多大なるお力を拝借して、早稲田大学を首の皮一枚で卒業。現在は、旅行会社のJTDBで営業を行なっております。旅行業は一見、激務というイメージが強いようですが、入社してみると本当に激務で、フェンシングで鍛えられた体力があつて良かったと、心から思う毎日です。

けれども日々色々なお客様と出会ったり添乗で世界各国を飛びまわったりと、やりがいがあり、本当に楽しく働いています。一昨年は、ユニバーシアード日本選手団の幹旋、昨年は、ナショナルチーム次世代育成キャンプの手配をさせていただいたり、社会人になった今でも、これまでとは違う形でフェンシングに携わることがあります。今も昔も変わらず思うところは、とにかく「人に恵まれている」という事。フェンシングも仕事も、上手いくことはかりではありませんが続けることができたのは周りの環境や人に恵まれていたからだと思えます。私生活では、仕事柄、よ

く旅行に行くようになりました。現役時代には叶いませんでしたが、今は国内外問わずチープな旅をしています！

特に思い出深いのは、1つ後輩の北川隆之介君(平成26年卒)が、入社1年目にいきなり鹿児島配属となり、あまりの寂しさに、ついに愛犬(ぬいぐるみです)とお喋りを始めたという噂がきっかけとなった、弾丸鹿児島旅行。後輩を元気づけるために、同期である平石典子さん(平成25年卒)と、鹿児島までひとつ飛びました。彼は想像以上に重症でしたが、変わらぬ明るさで、結果的に私達の方が元気を



左から北川隆之介(平成26年卒)、平石(平成25年卒)、ぶーりる(北川愛犬・佐々木(平成25年卒))

もらいました。かつては、一緒に汗を流した同世代の部員達も、今では社会人となり全国各地でまた一から雑巾掛けです。しかし、どんなに社会に採まれていても、フェンシング部の部員と顔を合わせると、学生時代のように心が若返るような気がします。ホッとする場があるというのは幸せなことです。

真面目な話はさておき、この場をお借りしてもっと真面目なお知らせがあります。実は、この度寺本明代先輩(平成23年卒)と真所美莉さん(平成26年卒)の熱烈な意欲に感化され、期間限定でフェンシング復帰することにいたしました。体力、気力、その他様々な理由により団体戦のみですが、体の動くうちにもうひと頑張りしようと思えます。全員、いわゆるサラリーウーマンであるため、なかなか時間は限られていますが、全日本に向けて何とかコツコツと練習に励んでおりますので、現役学生の応援のついでに、陰ながら応援していただければ幸いです。まずは形から。この連休はお揃いのチームジャージのお買い物からスタートします！(笑)

# 報 光 全

第38巻 54号

平成27年○月○日発行  
編集者 早稲田大学稲光会  
発行者 植竹 清  
題字 滝口 宏



## 女子エペ19年ぶり王座優勝 リーグ完全優勝で初の2連覇 全種目で新人が大活躍！

※今期、当部はターゲット部(「誇りと責任」を胸に春のリーグ戦に臨みました。ターゲット部として掲げた展望は、今後6年

間において「インカレ優勝を目指し、世界選手権・五輪等へ日本代表を輩出すること」を目標としております。目標達成の第一歩として、現役は春からの強化練習・合宿に実に真摯に取り組んでくれました。リーグ戦前、今回は各校実力伯仲の戦国リーグ戦を予測していましたが、その通りとなりました。この時期、男女フルレ陣で当部としてはワールドカップの日本代表に松山恭助と狩野愛巳の派遣要請を受け、世界の舞台に送り出しました。男女フルレ陣は戦力層が薄くなる中、最後まで勝負に執念を燃やし良く闘いましたが、「際どい1勝・1本」の場面の勝負に利あらず、男子5位・女子6位と苦しいスタートとなりました。しかし、その内容は上位校にも肉薄したり



レー戦を闘い、秋のシーズンでの手応えを十分に感じさせる戦いでした。続く種目の女子エペでは、昨年に続く完全優勝で初の2連覇を達成し「チーム早稲田」に勢いをつけました。2年連続、圧巻の完全優勝でしたが、その内容はルーキーを加えたチームが良くまとまり、助け合い、リレー勝負を実に手堅く勝ち進んでいくという、まさに王者の風格を持ったチームに成長してくれました。また、昨年の雪辱に燃える男子サーブル陣も新戦力を加えての猛練習が実り、上位の3チームには肉薄した内容も有り、下位2チームには大差の勝利で4位と面目を施し、更なる上昇を期待できるチームとなりました。

《王座決定戦、入替戦》  
リーグ戦終了後、王座決定戦、入替戦と1カ月余の緊張持続の中、「栄光への挑戦」と「試練の闘い」に全部員が一丸となりました。今にして思いますが、この段階で部の団結力を最大に出来たことが何よりの成果であると考えています。  
そして臨んだ女子エペ王座決定戦、初戦は前年の王座覇者・朝日大、そして決勝は強敵日大との戦いとなりました。それぞれの試合

とも序盤のリードを、3人の選手がそれぞれの役割でしっかりと守り、抜けていくという理想的な試合運びで「19年振りの王座優勝」を勝ち取りました。ターゲット部としての初年度に重責を果たすことが出来ました。

続く次週は女子フルーレ入替戦、相手は明治大であり、2部では圧倒的な強さで優勝を決めてきました。早稲田は今期初めて最強メンバーで試合に臨むことが出来ました。しかし、相手のエースは、エペでは世界ジュニアでも活躍の気合い十分な選手であり、「決して油断は出来ない」ことを全員が確認して勝負に臨

みました。結果は圧勝することが出来、応援に駆けつけて頂いたOB・OG諸氏に感謝を申し上げることが出来ました。

秋のシーズンでは更にチーム力の向上を図り、男女6種目でインカレ優勝を狙うことを全員で確認しました。

※注 ターゲット部とは、2015年度度より設けられた新たな強化施策の中で、従来の重点強化部(4部)、重点強化部(11部)に加え、強化対象として認定された部の名称でフェンシング、ウエイトリフティング、レスリング、バドミントン、自転車、体操の6部です。

### 戸谷高明元部長 先生逝く

戸谷高明元部長先生が平成17年3月20日パーキンソン病でお亡くなりになりました。享年85歳でした。4月26日(日)東浅草の東禅寺で納骨式、浅草ビューホテルで偲ぶ会が開催されました。当日は早稲田大学、理事長を務められた早稲田実業学校の関係者、友人、後輩、教え子他多数の人が出席され、先生を偲びました。稲光会からは北原会長(写真)、植竹副会長が出席、会長がお別れの弔辞を述べられました。会場祭壇には先生が生前、大変気に入っておられた平成12年3月稲光



会から贈られた吉田洋服店(故吉田友久先輩S41年)謹製の稲光会ネーム入りブレザーを着た先生の写真が飾られていたのが大変印象に残りました。先生は初代滝口宏先生、2代目平俊文先生の後を継ぎ3代目として昭和56年から平成12年まで20年間お祈り致します。合掌(植竹記)

にわたって部長先生を務められました。誠実な人柄と暖かいまなざしが人を魅了し、部員のみならず、稲光会々員からも名部長先生として慕われました。平成22年には教育学の分野で瑞宝中綬章を授賞されました。先生のご冥福を心より

## 2015 年前半の戦績

【<男子フルーレ>  
1勝4敗 1部5位  
早稲田大学●40-44  
早稲田大学●44-45○日本体育大学  
早稲田大学●37-45○中央大学  
早稲田大学○45-29●慶応大学  
早稲田大学●44-45○法政大学

<男子エペ>  
1勝4敗 1部5位  
早稲田大学○45-42●法政大学  
早稲田大学●34-45○明治大学  
早稲田大学●37-45○日本大学  
早稲田大学●40-45○慶応大学  
早稲田大学●36-45○専修大学

<男子サーブル>  
2勝3敗 1部4位  
早稲田大学●35-45○法政大学  
早稲田大学●42-45○日本大学  
早稲田大学●35-45○中央大学  
早稲田大学○45-19●明治大学  
早稲田大学○45-29●専修大学

<女子フルーレ>  
1勝4敗 1部6位 入れ替え戦へ  
早稲田大学●30-31○日本大学  
早稲田大学●24-41○日本女子体育大学  
早稲田大学●17-45○法政大学  
早稲田大学○45-41●日本体育大学  
早稲田大学●25-45○専修大学

<女子エペ>  
5勝0敗 1部優勝 王座決定戦出場  
早稲田大学○45-35○明治大学  
早稲田大学○45-36○日本体育大学  
早稲田大学○45-27●専修大学  
早稲田大学○45-20●日本女子体育大学  
早稲田大学○45-26●日本大学

<女子サーブル>  
3勝2敗 1部3位  
早稲田大学●41-45○法政大学  
早稲田大学●42-45○東京女子体育大学  
早稲田大学○45-43●専修大学  
早稲田大学○45-36●日本大学  
早稲田大学○45-33●慶応大学

<女子エペ王座決定戦>  
2勝0敗 優勝  
準決勝  
早稲田大学○45-41●朝日大学  
決勝  
早稲田大学○37-30●日本大学

<女子フルーレ入れ替え戦>  
1部残留  
早稲田大学○45-21●明治大学

## 新入部員紹介

①学部②出身校③種目④抱負⑤戦績



才藤歩夢(さいとうあゆむ) ①スポーツ科学部②埼玉県私立埼玉栄高等学校③エペ④先輩方と一緒に多くのタートルを勝ち取りたいと思えます⑤アジアジュニア選手権個人3位団体優勝

小野真英(おのまさひで) ①スポーツ科学部②埼玉県私立埼玉栄高等学校③エペ④試合の流れを引き寄せられる選手になる⑤インハイ個人3位

竹田陸人(たけだりくと) ①社会科学部②法政大学③フルーレ④リーグ戦優勝⑤世界カデ日本代表

茂木雄大(もてぎゆうだい) ①スポーツ科学部②法政大学③サーブル④インカレ個人団体優勝⑤インハイ個人優勝



松山恭助(まつやまきょうすけ) ①スポーツ科学部②東亜学園高等学校③フルーレ④早稲田の勝利に少しでも貢献できるように頑張ります⑤インハイ個人・団体三連覇、全日本選手権・団体優勝

武山達(たけやまとおる) ①創造理工学部②早稲田大学③サーブル④チームに必要される選手となる⑤全日本選手権出場

佐々木陽菜(ささきはるな) ①社会科学部②大原学園高等学校③サーブル④ジュニアのワールドカップでメダル獲得⑤全日本選手権6位入賞

狩野愛巳(かのみなみ) ①スポーツ科学部②宮城県立仙台第三高等学校③フルーレ④リオオリンピック出場⑤全日本選手権3位、5位

### 【夏季合宿】

ぜひ諸先輩のご指導をお願い致します。  
平成27年9月9日(水)〜16日(水) 12日は中目黒  
★場所 リゾートイン坂の下  
★住所 山梨県都留郡富士河口湖町船津454  
★電話 0555722109  
※夏休みの練習は9月1日から行います。

### 【稲光会の日&女子エペ祝勝会】

平成27年10月18日(日)  
17号体育館フェンシング教場

### 【早慶戦】

平成27年12月20日(日)  
慶応高校体育館(日吉)にて今年の慶応は王座決定戦男子エペ優勝、大変接戦が予想されますので、応援の程宜しくお願い致します。  
※稲光会の日、早慶戦は後日ご案内します

### ワセダクラブの活動



中村校長指導の下で今年も頑張っています！  
ぜひ応援をよろしくをお願いします。

- ▼関東大会
  - 小学生男子フルーレ 優勝
- ▼目黒区民大会
  - 小学生フルーレ 優勝 鈴木統吾 2位 高橋未楽
  - 中学生女子フルーレ 2位 黄田佳倫
  - 一般エペ 2位 鍵野友莉夏
- ▼全国中学生大会
  - 女子エペ 2位 原田紗希
- ▼常磐松杯
  - 小学生男子 優勝 高橋未楽
  - 小学生女子 2位 中村真琴